

4-4 教養教育科目の抽選について

教養教育科目では、教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、授業内容に応じて履修者数の上限を定め、抽選により授業開始前に履修者を決定します。（一部科目を除く）

なお、科目区分毎に実施方法や留意事項が異なります。詳細は以下の各ページを参照してください。

- ・ 「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」・・・【See→1 頁】
- ・ 「言語科目（初修外国語）」・・・【See→「学士課程教育履修の手引」19 頁】
- ・ 「他学部が開講する専門教育科目で教養教育科目となるもの」…【See→3 頁】

「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」の抽選

- 1) 「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」の抽選登録時期は以下のとおりです。詳細についてはその都度掲示しますので、必ず確認してください。

抽選登録時期

第1学期開講科目：

3月下旬

第2学期・夏季集中開講科目：

5月初旬～5月下旬

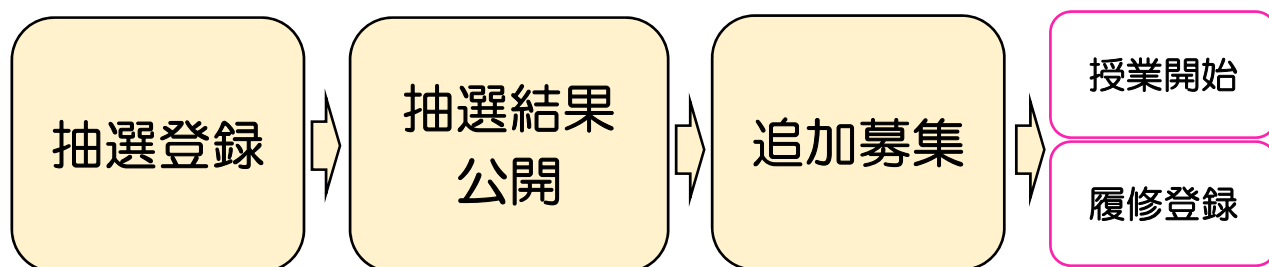
第3学期開講科目：

9月上旬

第4学期・冬季集中・春季集中開講科目：

11月上旬

- 2) 抽選の流れは以下のとおりです。



時間割やシラバス等を確認し、履修を希望する抽選対象科目が決まったら、学務情報システムから抽選登録してください。学外からも登録可能です。抽選登録の手順については、掲示や「学務系システムの手引き」を参照してください。（※スマートフォンからも登録可能です。）

抽選結果公開後、当選者が定員まで達していない全ての科目について、学務情報システムから**先着順**で追加募集を行います。（授業担当教員へ直接、追加募集実施の有無等の問い合わせはできません。）

抽選に当選した科目は、結果公開の時点で自動的に履修登録されます。また、追加募集で当選した科目は、即時で履修登録されます。

抽選で当選した科目は、履修削除できません。（追加募集で登録した科目は、追加募集期間終了時に履修削除できなくなります。）抽選登録を行う時点でシラバスをよく確認し、自身が履修を希望する科目の**みを抽選登録**するようにしてください。

やむを得ず当選した抽選対象科目を削除する必要がある場合は、所属学部の教務担当窓口にご相談してください。

4. 授業の履修手続き

留意事項

- 1) 「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」の抽選対象科目は、抽選で当選した学生あるいは追加募集で登録した学生以外は履修できません。(卒業・進級等の事情により、やむを得ず当選していない抽選対象科目の履修が必要な場合は、所属学部教務担当窓口にご相談ください。)
- 2) 抽選対象は以下のとおり、科目の開講曜日によって異なります。
火曜日・金曜日開講の科目(月曜日・木曜日開講の科目は抽選登録できません。ただし、1学期を除き、追加募集には登録可能です。)
- 3) 必修となっている英語科目が割り当てられている時間帯の科目には抽選登録できません。ただし、追加募集には登録可能です。
- 3) 「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」であっても、一部抽選を行わない科目があります。抽選を行わない科目については、所属学部等が定める、各学期の履修登録期間内に履修登録を行ってください。

4-5 履修登録のルール

(1) 全学共通科目・英語科目・全学交流科目・教養教育科目授業時間表

「全学共通科目・英語科目・全学交流科目・教養教育科目授業時間表」は、全学共通科目・英語科目・全学交流科目で開講される全ての科目について記載しています。これらの科目区分では、さまざまな科目が開講されています。各科目によって履修対象や授業形態が異なりますので、授業時間表及びシラバスをよく見て履修登録を行ってください。

(2) 全学部共通の注意事項

教養教育科目全体の履修のルールや注意事項について確認しましょう。

① 履修登録・成績評価

授業科目はすべて学期単位で開講され、成績も学期ごとに評価されます。履修登録は学期毎に行い、夏季集中に開講される科目は第1学期から、冬季集中・春季集中に開講される科目は、第3学期と同時から学務情報システムにより登録できます。登録期間等の詳細は掲示にてお知らせします。(所属学部等によって異なります。)

② 履修対象の学部・学科等

履修に際しては、授業時間表の「履修対象の学部、学科等」欄の指定およびシラバスの指示に従ってください。「履修対象学部、学科等」以外の学生は履修できないので注意が必要です。

③ 重複履修の禁止

- (1) 既に単位を修得した授業科目を再度履修してはいけません。ただし、一部の授業科目では重複履修が認められています。
- (2) 同じ授業科目名の授業は、担当教員や授業内容が異なっても、重複履修することはできません。
- (3) 同一授業時間に開講される複数の授業科目を重複して登録することはできません。
- (4) 上記(1)、(2)にかかわらず、重複履修できる科目があります。詳細はMoodleに掲載している開講授業科目一覧を確認してください。

④ 外国人留学生の言語科目

外国人留学生は、言語科目の履修にあたって、母語を履修することはできません。

4. 授業の履修手続き

⑤ 夜間主コース授業の受講の禁止

夜間主コース以外の学生は、夜間主コースの授業を履修することはできません。

(3) 各科目の履修上のルール

① 学部ガイダンス科目

各学部あるいは学科・課程ごとに当該学部所属学生を対象として開講されます。シラバス及び掲示等の指示に従って履修してください。

② 「知的理解科目」、「実践知・感性科目」、「汎用的技能と健康科目」の内、英語で行われる科目

授業で使用する言語が英語の科目については、授業時間表の備考欄に「英語で行われる科目」と記載しています。これらの科目は英語力について受講要件がある場合がありますので、必ずシラバスを確認してください。また、抽選を行わない科目もありますので、注意してください。

③ 言語科目

●英語科目検定試験について

1年次（リンガスキル（4技能）：4月上旬）と3年次（詳細は別途連絡）に実施します。

「英語(スピーキング)」「英語(リーディング)」「英語(ライティング)」「英語(リスニング)」

1年次に開講される必修科目の授業です。入学時のリンガスキル（4技能）の結果により、クラス分けを行います。指定されたクラスを変更することはできません。

単位未修得となった場合は、次学期以降に、事前に担当教員の許可を得て再履修してください。担当教員の許可がない場合は、履修できません。なお、リンガスキルスコアによってクラス分けをしていますので、再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルの確認をしてください。

「英語(総合)」「英語(S&L)」「英語(R&W)」

2年次に開講される授業です。

指定されたクラスを変更することはできません。ただし、専門教育科目の再履修科目とバッティングしている場合に限り、クラスの変更を認めます。クラス変更の手続きについては、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループにて確認してください。

単位未修得となった場合は、次学期以降に、事前に担当教員の許可を得て再履修してください。担当教員の許可がない場合は、履修できません。なお、再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルの確認をしてください。

「ブレ上級英語」「上級英語」

履修を希望する学生は、必ず最初の授業に出席し、担当教員にリンガスキルスコアを提示した上で、履修の許可を得てください。ただし、検定対策用のクラスの受講者はスコア提示の必要はありません。

(4) 他学部が開講する専門教育科目の履修について

各学部が開講する専門教育科目のうち、「全学共通科目・英語科目・全学交流科目・教養教育科目授業時間表」に記載する授業科目は、全ての学部の学生を履修対象として開講しています。

この専門教育科目を開講学部以外の学生が履修し単位を修得した場合は、当該一覧表に記載のとおり教養教育科目の授業科目として取り扱われます。履修に当たっては、次の各事項に留意してください。

4. 授業の履修手続き

- (1) 開講学部、学期、曜日・時限および教養教育科目への対応についてよく確認の上、間違いのないようにしてください。（専門基礎科目・専門科目として履修する講義番号と教養教育科目として履修する講義番号が異なりますので、注意してください。）
- (2) 指定された一部の科目については、教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、事前に履修希望登録を行い、履修希望者多数の場合には、抽選を実施し履修者を決定します。
開講学部以外の学生で履修を希望する場合は、必ず登録してください。
なお、履修希望登録期間や詳細な方法については、以下の URL を確認してください。
https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/kyomu1_5_1.html
- (3) 授業計画等を確認する場合は、シラバスを参照してください。